

研究者をめざして

文部科学省 科学技術人材育成費補助事業
ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ(特色型)
都の都女性研究者エンパワーメント推進事業



東北大学男女共同参画推進センター
Tohoku University Center for Gender Equality Promotion

東北大学サイエンス・エンジェル(SA)

次世代の研究者を目指す中高生に「女性研究者ってかっこいい!」「理系進学って楽しい!」という思いを伝えるために結集した、東北大学の自然科学系女子大学院生です。女性研究者のロールモデルとしてセミナーやイベントを開催し、科学の魅力・研究のおもしろさを伝えています。

東北大学サイエンス・エンジェルになるには?

対象者:自然科学系研究科(理学・医学系・歯学・薬学・工学・農学・情報科学・生命科学・環境科学・医工学)に在籍する大学院女子学生
募集時期:新規SAは、4月上旬に、募集しています。

主な活動



▲ 体験型イベント ▲ 出張セミナー ▲ オープンキャンパス for 女子高生

活動した東北大学サイエンス・エンジェルの感想

- ◆自分の研究に関して専門用語を並べてそれらしく語ることはできますが、わかりやすく伝えることがこんなに難しいものであったのかと、様々なイベントを経験して身にしみてわかりました。
- ◆自分の行動をもっと肯定的に捉えてよいということと、自分の研究は自分が思っている以上に興味深いものであるということ気付かされました。



学内施設

学内保育園

●川内けやき保育園
月曜日～土曜日8:00～19:00(祝祭日及び年末年始の休日を除く)
※延長保育・一時保育も行っています。
【定員】30名
【対象】東北大学の教職員・学生
【HP】<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/somu/secure/keyaki/>(学内専用)



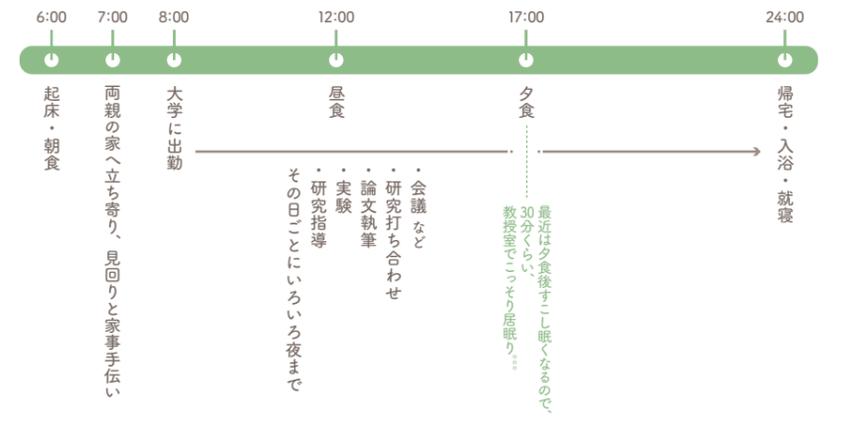
●青葉山地区第三保育所(仮称)
※平成30年度開業(予定)
【定員】100名 【対象】東北大学の教職員・学生

病後児保育室

●星の子ルーム
発熱等の症状があり集団生活が困難な体調不良の生後6ヶ月～小学3年生(かかりつけ医連絡票が必要)が利用できます。
月曜日～金曜日7:30～18:00(祝祭日及び年末年始の休日を除く)
【対象】東北大学の教職員・学生



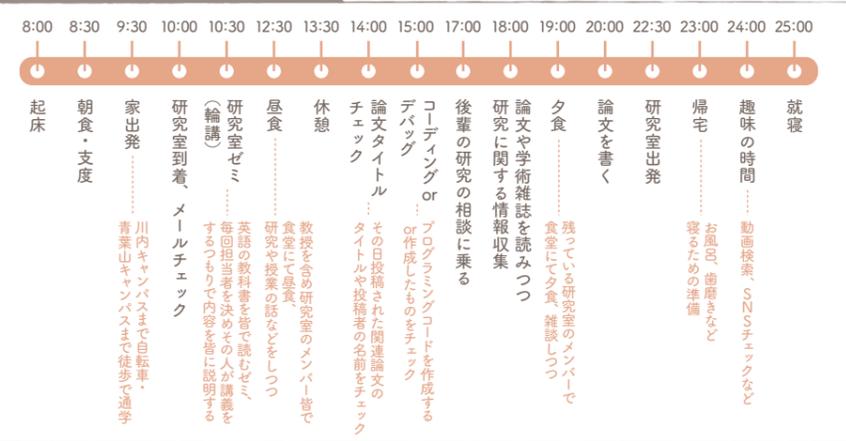
1日のスケジュール



1日のスケジュール



1日のスケジュール



東北大学男女共同参画推進センター
Tohoku University Center for Gender Equality Promotion
TEL 022-217-6092
〒980-8577 宮城県仙台市青葉区片平2-1-1
E-mail tumug@morihime.tohoku.ac.jp
HP www.morihime.tohoku.ac.jp

HP MAP

女性研究者の紹介

A 本橋 ほづみ 先生 加齢医学研究所 副研究所長 遺伝子発現制御分野 教授 の場合



profile

加齢に伴う様々な疾患の病態の理解とその予防を目指して、細胞の司令塔である核内のイベントにこだわって、環境ストレス応答機構を研究しています。

大学院生として基礎生命科学の世界に飛び込んだ1993年から、はや24年間にわたり転写因子による転写制御機構とストレス応答機構の研究を続けています。細胞の核の中で何が起きているのかが知りたいという好奇心と、自分の個性を研究という手段で表現したいという自己表現の欲求に衝き動かされてここまで来たように思います。研究にかぎらず、何かを人生かけて成し遂げたいと考えるなら、何かはある程度犠牲にする覚悟は必要と思っています。

ライフイベント	
1984.4	東北大学 医学部 入学
1990.3	同卒業
1990.6	東北大学医学部耳鼻咽喉科研修医
1992.4	東北大学大学院医学研究科 入学
1996.3	東北大学大学院医学研究科 修了 博士(医学)取得
1996.4	筑波大学先端学際領域研究センター 助手
2000.5	米国Northwestern大学 Visiting scholar
2000.10	筑波大学先端学際領域研究センター 講師
2006.11	東北大学大学院医学系研究科 助教授
2013.4	東北大学加齢医学研究所 教授

B Maia Roots 先生 法学研究科 助教 の場合



profile

日本とドイツの家族法を研究しています。特に離婚後の親子関係をめぐる法に関心を持っています。

学部時代の留学先で日本法についての授業を受け、日本法の面白さに目覚めました。大学院は東北大学に決め、入学して以来、ずっと家族法の研究をやってきました。まだ研究者としてのキャリアが短いですが、徐々に他大学の研究者や弁護士等の知り合いも増え、ネットワークが広がり、研究がだんだん楽しくなっています。日本生まれの我が子がもう少し大きくなったら、論文の日本語のネイティブチェックをしてもらおうと、企んでいます。

ライフイベント	
2003.9	母国エストニアのタルトゥ大学に入学
2004.9	早稲田大学へ1年間交換留学
2008.5	大学卒業後一旦ラトビアで民間会社に入社
2009.4	進学すべく研究生として来仙
2009.10	息子出産、その翌月に大学院の入試を受験
2010.4	東北大学大学院法学研究科の修士課程に入学、家族法の研究を開始
2015.3	博士号習得
2015.4	法学研究科助教に就任、初めて日本語で大学の講義を担当
2016.4	兼業で東京の私立大で初めて英語で大学の授業を担当
2017.1	日本とドイツの家族法を現在研究中

C 石井 彩子 さん 工学研究科 航空宇宙工学専攻 博士課程3年 の場合



profile

ガンマ線バーストと呼ばれる宇宙最大級の爆発現象の発生機構を解明するために、数値シミュレーションを用いて研究しています。

高校生の頃はやりたいことがたくさんありなかなかに進路を決められずにいましたが、ほんやりと「宇宙に関する勉強をしたい」「将来は研究職に就きたい」と考えており、それに従って現在の進路を選びました。学部生時代はサークル活動に打ち込んでいた時期もありましたが、その頃に広がった人脈や趣味のおかげで現在研究生活に行き詰ったときの良い息抜きの場ができました。大学・大学院時代には研究をはじめとしてやりたいことに何でも挑戦していくと良いと思います。

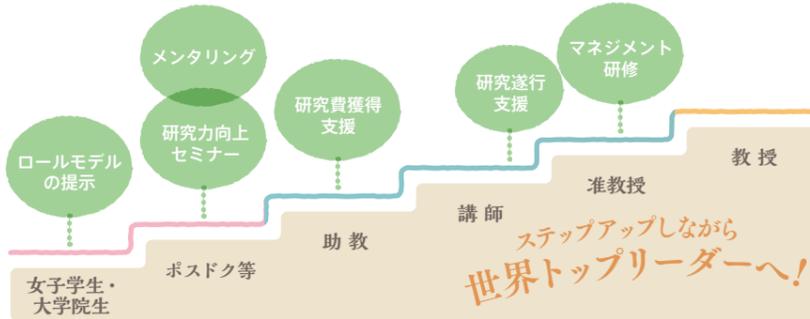
ライフイベント	
2008.4	東北大学工学部 機械知能・航空工学科 入学 (ブルーグラス同好会に入部)
2012.4	卒業後、東北大学大学院工学研究科 航空宇宙工学専攻 博士課程前期 入学 相対論的流体中での輻射輸送シミュレーションの研究を始める
2014.4	東北大学大学院工学研究科 航空宇宙工学専攻 博士課程後期 進学
2017.3	同 卒業(予定)
2017.4	他大学でポスドクとして武者修行 予定

杜の都女性研究者エンパワーメント 推進事業の特色



各キャリア段階に合った多様な取組により 女性研究者の研究業績向上および 女性リーダー育成に寄与する仕組を展開します。 「推進します!! 東北大エンパワーメント」

- 女性研究者の上位職への採用と登用
- 女性研究者に特化したURAによる研究力向上と研究遂行支援
- ライフイベントが障害にならない研究環境整備



募集実施プログラム一覧

項目	プログラム名	内容	対象者
01	両立支援	研究支援要員 (A型・B型)	出産・育児・介護等を行う 教員・技術職員
02	両立支援	研究支援要員 (C型)	出産・育児・介護等を行う 女性教員
03	両立支援	ベビーシッター 利用料等補助	育児を行う教員、技術職員、ポスドク、博士学生等
04	女性リーダー 育成	リーダー 研究支援要員	国の審議会委員等の要職に 就く女性教員・技術職員
05	女性リーダー 育成	スタートアップ 研究費	新規採用の女性教員 (助教以上)
06	女性リーダー 育成	研究スキルアップ 経費	女性教員 (准教授、講師、助教)
07	女性リーダー 育成	「科学研究費助成事業」 フォローアップ	女性の教員(准教授、講師、助教、助手)およびポスドク(教育研究支援者など)
08	女性リーダー 育成	国際学術論文 作成のための 英文校閲費用補助	女性教員 (准教授、講師、助教、助手)
09	次世代育成	東北大学 サイエンス・エンジェル	自然科学系部局に 所属する大学院女子学生
10	次世代育成	仙台1ソントクラブ 東北大学大学院 女子学生海外渡航支援	大学院女子学生
11	上位職への 積極的登用	ダイバーシティ研究 環境実現のための 部局等による取組 支援プログラム	全部局

イベント紹介

TUMUG Café

教職員および学生・大学院生が男女問わず子育てに関する情報や意見を気軽に共有できる場として、ランチタイムにTUMUG Caféを開催しています。 学内外から話題提供者をお招きし、出産を控えた参加者や子育てがひと段落ついた経験者等が集い、いろいろな立場から意見交換等を行っています。



TUMUG Forum



着任後5年以内の女性研究者が研究内容及び研究成果を学内で発信し、さらに男女を問わず研究交流を行う場としてTUMUG Forum (女性研究者研究発表・交流会)を開催しています。交流会には、沢柳フェロー*も参加しており、体験談やアドバイス等を聞くことができます。

*全学女性教授のうち、人物ならびに学識においてすぐれた人物を「沢柳フェロー」と称しています。

顕彰制度

澤柳政太郎記念東北大学男女共同参画賞(澤柳記念賞)

男女共同参画社会を目指す活発な取組の一助となるよう、アカデミアにおける男女共同参画の先駆けとして各分野で活躍し多大な貢献をされた方々を選考し顕彰いたします。

A: 澤柳政太郎記念東北大学男女共同参画賞

男女共同参画に関する研究や活動について、特段に優れた成果を挙げている個人又はグループ

B: 澤柳政太郎記念東北大学男女共同参画奨励賞

男女共同参画に関する研究や活動について、顕著な成果を挙げている、あるいは顕著な活躍を行っており、今後一層の成果や活躍が期待される若手(42歳以下)の個人又は若手で構成されるグループ

両立を目指す学生へ ~男性研究者からのメッセージ~

自分の育児休暇の反省を含めて思うのは、そもそも子育てというものは不合理、非効率、不条理なものであるという事です。乳児期の愛着形成も母親だけでなく、身近な複数の養育者に対してなされるものですし、親族などまわりの大人たちや保育サービスを駆使しつつ、乳児発達に必要な安定した環境を構築するよう、パートナーの方と協力して進めていただければと思います。



神谷 哲司 先生
教育学研究科 准教授
2児の父親
平成21年に育児休暇取得